

第294回触媒化学研究センターコロキウム

共催 北海道大学グローバルCOEプログラム「触媒が先導する物質科学イノベーション」

炭素材料のナノ構造制御と機能設計

京谷隆 教授（東北大学多元物質科学研究所）

2011年3月10日（木）16:00–17:00

創成科学研究棟4階セミナー室C

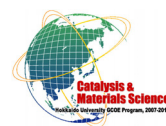
<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>



制御されたナノ空間を材料合成の鋳型として用いることで、サイズや構造を制御するだけでなく、その機能も設計することができる。ナノ構造が高度に制御され機能設計された炭素材料はエネルギー分野やナノバイオ分野など幅広い範囲で応用できる。

問合せ先： 触媒化学研究センター・福岡淳 (fukuoka@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9140)

略歴：昭和52年3月大阪市立大学工学部応用化学科卒業・昭和57年3月東北大学大学院工学研究科博士課程応用化学専攻修了・昭和57年4月東北大学非水溶液化学研究所（現：多元研）助手・平成2年1月 東北大学非水溶液化学研究所講師・平成3年9月東北大学反応化学研究所（現：多元研）助教授・平成16年4月東北大学多元物質科学研究所教授 主な賞歴，学会活動：平成5年5月石油学会奨励賞・平成7年2月日本エネルギー学会進歩賞・平成12年12月炭素材料学会学術賞・平成14年1月より Carbon誌Editor・平成15年8月より J. Porous Materials誌Editorial Board Member・平成17年3月日本化学会学術賞・平成20年7月 The Japan Carbon Award for Innovative Research・平成21年4月 文部科学大臣表彰科学技術賞 研究分野またはキーワード：ナノカーボン，無機ナノマテリアル，エネルギー関連材料，炭素化学



294th Catalysis Research Center (CRC) Colloquium

Hokkaido University Global COE Program "Catalysis as the Basis for the Innovation in Materials Science"